

福島県PTA連合会会報
第21号_S61.02.25

昨年あれほどさわがれた校内暴力は減少傾向にあり、公立学校の荒廃現象は暴力行為から陰湿ないじめに変質化した。県内でも残念なことに自殺まで追いこんだ事件が発生したことはPTAとしてもその責任の重大さを感じさせられた。そうした意味からも県PTA研究大会二本松大会が県内から二千三百余名が参加し有意義に大会が終了出来たこと大変うれしく思った。

「いじめ」の問題がマスコミに取り上げられて新聞のそれだけの各社が押し寄せたのも、いかに研究大会の関心の深さが、高いかを物語るもので、特に分科会の討議も真剣で近年にない実ある研究大会であったと思う。これをひとつの契機として二十一世紀を担う心豊かなたくましい子ども

の育成をめざすPTA活動を推し進めてほしい。本会の事業である安全互助会はかねてから加入率の向上に深い関心を寄せてきたところであるが小学校八十五・二%、中学校七十一・三%をそれぞれ突破したことは、関係者に心から敬意を表したい。



県連P会長 国井庄八

県連P今年の活動をふりかえって

県連P
ふりかえって

福島市黒岩字田部屋53-5
福島県青少年会館内
福島県PTA連合会
発行人 国井庄八
印刷 泉孔版印刷所
福島市泉字熊野13-1
電話57-1071

おめでとう

文部大臣・日P 東北P会長賞に輝く

去る十一月十五日、菊薫る東京都目白、椿山荘において、昭和六十年

優良PTA表彰式が、約千名の受賞者、同伴者などの参会のもとに盛大に挙行された。

日P会長林孝介氏の挨拶後、多年に亘りPTA活動推進のために功勞のあった方達へ、おめでとうの言葉

を添えて表彰状、記念品が贈られた。引きつづき、文部大臣賞の栄を受けた百十六PTAに文部省鳩山政務



事官より表彰状が伝達された。

（表彰状受賞風景）

○個人

大谷 恒雄

（県連P前副会長）

吉田 稔充

（県連P前副会長）

鈴木 健一

（県連P前副会長）

立花 和夫

（県連P前事務局長）

◇東北P会長賞受賞者

表彰式は、昭和六十年九月十四日東北PTA研究大会山形大会開会式において挙行された。次の方達が表彰に輝いた。

なお、前号にて広報する機会を失したので当号に掲載することにした。

○団体

福島市立渡利中学校
父母と教師の会

郡山市立郡山第五中学校
父母と教師の会

坂下町立第一中学校
父母と教師の会

いわき市立平第六小学校
父母と先生の会

猪苗代町立千里小学校
父母と教師の会

若松市立城西小学校
父母と教師の会

○個人

薄井 勝利

（須賀川一中P前会長）

相楽 一重

（石川小P前会長）

天野 淳乗

（桜丘小P前会長）

臼井 恒寿

（大沼連P事務局長）

柿木 敏雄

（福島四中P前会長）

吉田 泰久

（小白井小P前会長）

< 福島 >

わがPTAと地域活動

福島市立清水小学校PTA

本校は、福島市の北部に位地し、住宅地として急速に開発された地域です。しかし、まもなく百周年を迎える伝統ある学校です。

一つは、学年ごとの学習会です。

児童数一、〇二〇名、二十六学級の大規模校です。本校PTA活動は、①学年委員会活動 ②専門部活動 ③地域活動の三つの柱からなっています。それらの中から、特に二つの活動内容を紹介いたします。

内容は、各学年で創意工夫をしており、父親を対象にした学習会、人生論から、子どもの健康の内容、親と子で一緒に講演会などさまざまです。

二つは盛んな地域活動です。

地域活動は補導部の活動、というせまいとらえ方ではなく、PTA全体の問題として、執行部が責任を持ってとりくんでいます。

「地域ぐるみの子育て」という立場で、地域の教育力を結集しての、本来の地域活動を進めるため



(地域懇談会の様子)

に、努力中です。具体的には、二年前に全市四十四地区に組織化された「青少年健全育成推進会」を中心とした活動です。

小学校に事務局が置かれており、学校とPTAが中心となって、地域の関係機関、団体、個人を総動員して活動しています。

活動内容は、
・ 毎月の巡回補導
・ 地域懇談会(七会場で行う)
・ あいさつ通りの推進

・ 標語の作成(全戸へ配布)
・ 広報活動(たより、チラシを全戸に配布)
・ 親子映画会
・ 地域子ども文庫作り

・ 標語の立看板設置(高さ三間)などの、地域ぐるみの大運動が展開されています。

こうしたとりくみの中で、PTAへの評価が高まり、期待されるPTAになりつつあります。

特色あるPTA活動

< 白河 >

親子の連帯と健全な
子どもの成長をめざして

白河市立白河第五小学校PTA

本校は白河市中心部から南に七キロ、栃木県境に位置して、かつては白坂の宿として栄えた歴史に名高い落ち着いた環境にある。

二、授業参観、保育参観。
幼小同一日に実施、その出席は百%に近い。

児童数は二〇九名だが同じ棟の中に幼稚園が併設され六〇人の園児が小学生とともに活動をしている。

三、親子植林
「まっすぐ育ってぼくらの木」を合言葉にし、小それに中学生もはいる、毎年計画的に親子で植林や下刈り等の手入れもしている。

この関係でPTA行事の大部分が幼小児と保護者が同一対象として活動されている。

四、収穫祭
十月は幼小の収穫祭、校庭いっぱいになり広がられる行事は親子で働いて学童農園をしめくくり余興や野外炊飯に楽しい一日がくり広げられる。

そして親は、子ども達がこの木のように、まっすぐに、折れず、くじけず成長することを勤務の中から体験させたいと思っている。

一、交通事故二千日達成をめざして昭和五十九年四月三日、目標の千日達成祝賀式を開き、現在二千日に挑戦している。

五、親子宿泊訓練
親子が見事なキャンプファイヤーを囲み、山里におそくまで輝やき、子ども達のかん声がこだまする一泊二日のこの行事は、学校を会場にしておこなう親と子の夏の祭典である。

六、新校舎完成移転
現在の木造校舎はちょうど五十年になり、老朽に耐えきれず、新校舎建築中のところ、この三月九日、完成移転となり、目下児童達は新校舎の生活を体験し、父母は移転の手伝い準備中である。

以上、活動の一部をご紹介したが、当会員の活動は、子どもたちのために、という意識が強く、積極的である。

三、親子映画会
地域子ども文庫作り

三、親子映画会
地域子ども文庫作り



(PTAの下刈作業)

幼小の集団登校は完全に実施され、父母の意識

<若松>

児童の健全な成長発達を願う
援助活動としての花壇づくり

会津若松市立大戸小学校PTA

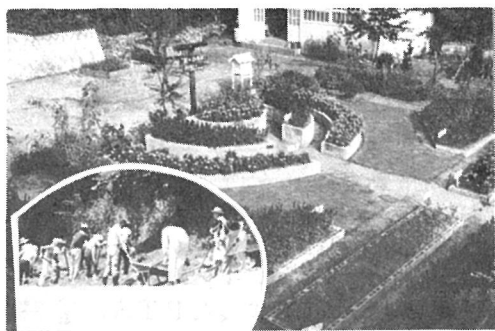
「美しい心と丈夫な体は、美しい環境で育つ」これは大戸小学校の教育方針である。

○可愛い草花を世話するやさしさが、思いやり心をはぐくむ。

○長期にわたる継続作業が、根気強さ、我慢強さを育てる。

○父母と先生の共働の姿が、子どもの勤労意欲を起させる。

このような具体的目標のもとに、少しでも青少年



(学校花壇と奉仕活動)

年教育のために役立つのなら、今から十年程前にPTAの手で学校花壇が造成された。その後施設・厚生委員会が中心となって企画・運営がなされ、年間一回程度地区割りで奉仕作業を実施している。

会津若松市の南端、大戸岳(一、四一五m)のふもとにある大戸小は積雪が多く雪どけが遅い。そのため四月に入ると雪消し、家畜飼育農家からの堆肥運搬と父母の作業が続く。それから、たねまき、仮植、移植と児童会の整美委員会が中心となって世話し、定植後は、各学年で秋まで管理することになっている。

種子、肥料、花の苗等の購入には相当の経費が必要のため、春秋と二回の廃品回収と文化祭の時バザーを毎年実施している。PTAと地域とが一体となって協力するためPTA年間予算の約半分

くらいの収益がある。

校舎の南側一角にある各学年ごとの立体花壇はサルビア・マリーゴールド・ペゴニアと群生し、赤・黄・白の原色が周囲の緑にマッチし、色鮮やかに咲き誇る様は見事である。

こうした努力のかいあって福島県民運動花いっぱいコンクールに一年教育長賞、昨年度県知事賞、今年度特別賞と連続受賞し、会津若松市民憲章推進花壇コンクールでは、五十六年度より毎年最優秀賞を受賞している。また、こうした実績が認められ、昨年度は日本PTA全国協議会長からの表彰も受け、会員一同、ますます自信と誇りをもった次第である。

夏季休業中の管理や防虫、殺菌等の消毒など苦労は多いが子どもの健全育成のためと思えばやりがいのある活動である。

特色あるPTA活動

<いわき>

学校教育への援護と
各委員会の自主的活動

いわき市立小名浜第三小学校PTA

本校PTAは、昭和二十四年四月父母と教師が協力して学校教育、家庭教育の振興、会員の教養と親睦をはかり、児童の健全な発達と幸福を図ることを目的として創設された。

住吉、野田、島の農業地域と玉川の住宅地域とがとけ合い、学校教育目標の具現化の一助として、各専門委員会、自主的に活動している。

本校の特色の一つとしての学校実習田は、大正五年八月当地区の資産家、渡辺武四郎氏より二反三歩(一、九九三㎡)の水田が寄贈され、二度にわたる矢田川の改修工事により、現在一反一畝十歩が児童・教師・父兄の手により耕作され、収穫後は、



(秋の収穫のようす)

以上の項目の具現化のため各委員会活動は、次の通りである。

①総務委員会：PTA役員のこと、各委員会との連絡、調整、ベルマークの整理発送等。

②文化委員会：会員の研修視察計画と実施、教育講演会、会員図書貸出し。

③厚生委員会：バザーの開催、給食センター見学、試食会、校舎内外の消毒。

④体育委員会：親善球技大会の企画、実施、連P球技大会出場の協力等。

⑤広報委員会：広報紙「たまがわ」の発行。「いじめ」の問題と、おこづかいの問題を取り上げ広報活動を行っている。

⑥校外指導委員会：春夏秋冬休み中の指導、駐在所巡査をまじえての商店代表との懇談会。

⑦交通安全委員会：登下校の交通安全指導、自転車教室への協力等。

⑧産業委員会：学校実習田の管理一切(田植、除草、収穫)等。学校の施設環境の整美への協力。

各委員会の活動は、委員長を中心に運営され、庶務係を通して、学校と連絡調整を図っている。

子どもの健全育成を図るために PTA活動にどのような内容でとりくんでいるか

— 県連Pアンケート調査から —

次代を担う子どもの健全育成を図るために、各小中学校PTAにおいては、真剣に各種事業にとりあげ、活動なされておるところでございます。県連P健全委員会としても、今後どのような対策を心がけたらよいかを知るために、本県小中学校無差別抽出、夫々50校PTAに本年度実施された内容について依頼いたしました。

90%の回答を頂きましたが、一応下記のようにまとめてみました。回答をおよせ頂きましたPTAに深く感謝申し上げます。

1 明るい健全な家庭をつくるための活動

活動区分	具体的活動内容
○ 親子のふれあい 対話のできる家庭 作りの奨励	○ チラシ、会報に行事計画、催しものを掲載し配付する。 ○ 親子のふれあい、対話をする場を作る。 ・レクリエーション ・運動会 ・スポーツ大会 ・もちつき大会 ・サイクリング ・ハイキング ・芋煮会 ・スキー ・郷土めぐり ・親子図画工作陶芸水栽培教室 ・親子の生産活動 ・親子対談会 ・調理実習 ・登山 ・PTAバザー ・文化祭 ・体験発表 ・テレビ講座
○ 家庭の日の普及 と奨励	○ チラシ、広報紙により奨励する。 ○ ポスター作文をかかせる。 ○ 家庭の日の内容について調査指導をする。
○ 家庭での役割分 担と指導	○ 家庭での役割分担を調査し、指導をする。 ○ 子どもの家庭での役割について研修会を開く。 ○ 広報紙で奨励
○ 各種懇談会開催	○ 学級学年PTA・地区教育懇談会。 ○ 両親学級会。
○ 各種調査と指導	○ 子どもの生活行動・生活時間の調査と指導をする。

2 良い地域環境をつくるための活動

○ 地域の危険箇所 点検、立札設置	○ 定期的に査察し、危険箇所に立札する。役場と連絡とる。 ○ 通学路の安全確保をする。 ○ 広報紙に掲載する。
○ 愛の一声運動	○ 広報紙・チラシを配付し、啓蒙する。 ○ 挨拶通りをつくる。 ○ 方部巡回運動をする。
○ 地域行事への参 加	○ 地域ぐるみの運動に参加する。(ソフトボール大会、親子レクリエーション、花火大会、地区運動会等) ○ 地域の環境美化運動に参加する。地域の落書き消し等。 ○ 地域の青少年健全育成行事に参加する。町民ハイキング。 ○ スポーツ少年団活動と推進。
○ 校外補導	○ 夏季・冬季の長期休暇時の巡回補導。 ○ 祭礼時の巡回補導。 ○ 夏季の愛のサイレン(18時)。 ○ 小中補導連絡会。
○ 部落子ども会の 育成	○ 部落懇談会をする。 ○ 部落子ども会育成を推進する。 ○ 子どもと共に、PTA廃品回収活動をする。
○ 子どもの災害事 故防止	○ 交通指導をする。 ○ しおり、チラシを配布する。 ○ 交通指導日を設ける。 ○ 自転車教室を開く。 ○ 水難防止をチラシで知らせる。 ○ 集団登校をする。
○ 奉仕活動奨励	○ 校舎・校地の整地清掃を親と共にする。 ○ クリーン作戦に参加する。 ○ 老人との交歓会を開く。
○ 有害施設の撤去 その他	○ 有害施設阻止運動。 ○ 不良図書の撤廃運動。 ○ 町連P標語の徹底を図る(広報紙等)。 ○ 自動販売機の調査。 ○ 俗悪ポスター掲示反対運動。

3 子どもを導くための学習活動

○ 子どもの実態を 理解する学習	○ 講師を呼んで講演を聴く。 ○ 実態理解の学習会を開く。 ○ 教師と話合う。 ○ 家庭訪問期間を設けて話合う。
○ 学校及び家庭教 育を理解する学習	○ 授業参観懇談をする。 ○ 教養講座を開き懇談をする。 ○ PTA一日入学をする。 ○ 教師との懇談会を開く。 ○ 文化祭に参加する。 ○ 講演を聴く。 ○ 広報紙に掲載。 ○ 学級学年行事に参加する。 ○ PTA手帳を発行する。
○ 教養を高めるた めの学習	○ 教養講座を開く。 ○ 教師と懇談をする。 ○ 授業参観。 ○ 公民館と共催講座を開く。 ○ PTAに関する図書の充実。 ○ 広報紙の充実。 ○ 家庭教育学級に参加する。 ○ PTAクラブ活動に参加する。(手芸、絵画、書道等)

4 その他

○ 諸会議、研修会 に参加	○ 地区小中学校生徒指導会議に参加。 ○ 地区健全育成会議に参加。 ○ 地区防犯協議会に参加。 ○ 方部中学校生活懇談会へ参加。 ○ 夏季休業時のプール監視・指導その他
------------------	--

PTAの発祥地アメリカを視察

I日P海外交流派遣団に推薦されてI

福島県PTA連合会長 国井庄八

私はこの度、日本PTA海外交流派遣団員としてアメリカのポートランド、シカゴ、サンフランシスコ、そしてカナダのトロントに行つて参りました。

アメリカはPTAの発祥地であり八十有余年の重さを感じました。

アメリカにおけるPTA活動は、子どもがいるかどうかは問題でなく、いかに教育に関心があるかと云うことで、すべてボランティア活動であります。

ポートランドではマツクハム中学校を訪れ、授業参観、校長先生・PTA役員の方々とミーティング。服装は全く自由で私立の学校は制服があると云う。この地域には五つの小学校があり更にそれが二つの中学校になり一つの高校になる。特別な高校を受験する以外は無し試験。授業は午前八時に始まり、午後二時半に終

わる。帰宅すればサッカーなど社会スポーツに参加するという。

シカゴにある全米PTA本部を訪れる。案内された会議室には歴代の会長の写真がズラリ。いずれも女性であった。

親として良い教育をどう進めるか。親の訓練、夫婦共働きの問題、性教育、麻薬の問題、子どもに対する暴行など課題は多い。

特にシカゴの場合、人口、片親、貧困と問題が多い。全国で百万人の未婚の母（高校生）がいるときかされて驚く。

子どもの性教育に力を入れねばと語るが黒人が人口の四十%。親の性的行動、暴行。子どもたちは大人がこわいと云う。トロントでオンタリオ教育研究所を訪れる。

英才教育の話にふれる。一回に限りど級が出来ることになっている。更に特殊児童教育を法律に

よって支えられている。大学受験は貧富の差はない。子どもが独立できる様に願うだけで他人も問題にしないし、高のぞみはないという。

十八歳、どこで暮してもよいアメリカだ。



日中友好
「少年少女の翼」
に三浦君が参加

日Pが初めて企画した日中友好「少年少女の翼」に本県より三浦盛栄君、(二本松一中二年)が参加することになった。

期日は、三月二十六日から五日間、全国から五十八名の中学生が参加し、中国の中学生と交流することになる。

日Pでは、増加傾向を辿り社会問題として、深刻化する「いじめ」について、傘下全会員に向けて解決のための推進運動を展開している。

全国の各PTAでは、それぞれ対応の処置を講じているが、この運動を推進するに至った経緯を理解しなくてはなりません。自ら死を選ぶに至ったり、考えられないほどの非常な行動によつて心身に打撃を受け誰にも言えないほどの苦悩を抱えているであろう子供たちのために、また一方で、このような状況に追い込まれている子供が実在する——。これらの実態を、親たちは他人ごとと考へてはならない。子供たちの不幸な出来ごとを絶滅するために、日本PTAが理事会で決議し、全国の単位PTAにまで要請しなければならなかったことを、先ず認識していただきたい。

(日P機関紙「日本PTA」205号より転載)

次に、去る昭和六十年十月二十三日に開催された日P理事会・常任幹事会(総合メンバー)において、「いじめ」ラブリーン運動の推進が決定され、各県連P会長に趣旨の徹底方の通知があったので、左記に掲載する。単位PTAにおかれましてはこの趣旨を御理解の上、強力に推進されるよう、お願いする。

と共に強力に推進する。

一、家庭教育機能の見直しを図ると共に、「いじめ」について親子対話をする。

二、「いじめ」や生徒指導について、学校・学

「いじめ」ラブリーン
運動の推進について
(日本PTA全国協議会提唱)

年・地区懇談会などを開催する。

三、「いじめ」について、学校・教師が一丸となり、積極的に取り組むことを求める。

記

なお、各単位PTA及び役員におかれては、至急本件について、学校長はじめ教頭、生活指導主任、学年主任などの先生方と十分協議されることを、強く要望します。

増加傾向をたどり、社会問題として深刻化する「いじめ」について、社団法人日本PTA全国協議会は、標記の運動を地方協議会及び単位PTA

習字

最優秀

作品



大波小 一年

栗原 功



平二小 二年

鈴木 順子



大波小 三年

小野 香織

第九回

子どもの災害事故防止

習字

輝く入賞者決まる

子どもたちの生活のまわりにはいろいろな災害事故がつきまといているが、子どもも親も安全について正しい認識を持ち、災害事故防止について、一人ひとりが対策を持つ必要がある。

これらの認識を高めるため、県連Pと県連P安全互助会主催で、「子どもの災害事故防止習字」の募集が行われたが、今回は第九回を迎え、習字は参加校三七校、三一六点、習字は参加

校七五校、一、二六三点で、ポストは昨年よりやや減少し、習字では増加が目だった。

ポストは、「災害事故防止」に関する標語を入れること。習字は、小一「じこ」小二「けが」小三「ほけん」小四「加入」小五「安全」小六「互助」中一「障害」中二・三「補償」の課題で、どの作品も力作ぞろい。習字は二月十五日、ポストは二月十七日に審査会がもたれ、入賞者が決定した。

ポスター

〔小学校の部〕

◇最優秀賞

紺野 俊介(清水小一年)
後藤 功二(城北小二年)
十文字亮子(清水小六年)

◇優秀賞

安部 明雄(山潟小一年)
西沢 良(一箕小二年)
斎藤 裕美(清水小四年)
深谷 淳(同 五年)
赤塚 雅洋(同 六年)

◇優良賞

滝田 智(双潟小一年)
しだひろぶみ(錦小 二年)
野地 勝也(清水小四年)
国井 道浩(綴小 五年)
市瀬 裕子(清水小六年)

◇佳作

寺木 領(双潟小一年)
渡部 順一(一箕小二年)
小野木弘志(城北小二年)
後藤 大作(一箕小三年)
作田 裕美(本宮小三年)
白坂エリナ(清水小四年)
富永 篤(東館小四年)

〔中学校の部〕

◇優秀賞

阿部 直美(保原中二年)

◇優良賞

鈴木かおる(表郷中一年)
湯田真由美(同 一年)

ポスター最優秀作品



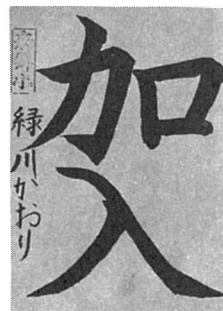
◀ 清水小 六年
十文字亮子



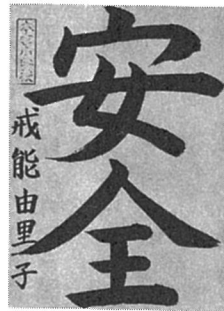
城北小 二年
後藤 功二

▲ 清水小 一年
紺野 俊介





表郷小 四年
緑川 かおり



本宮小 五年
戒能 由里子



平野小 六年
瀬川 恵子



矢吹小 一年
輪達 幸重

◇佳作

佐々木淳子(北会津中二年)
渡部 智子(同 三年)
小林 幸市(同 三年)

▲習字

「小学校の部」

◇最優秀賞

栗原 功(大波小一年)
鈴木 順子(平二小二年)
小野 香織(大波小三年)
緑川 かおり(表郷小四年)
戒能 由里子(本宮小五年)
瀬川 恵子(平野小六年)

◇優秀賞

塚田由起子(清水小一年)
はしもとみか(本宮小一年)
しらいつ子(平二小一年)
末永 理恵(大波小二年)
菅野 泰子(本宮小二年)
すずきひろとも(小田川小二年)
鈴木 宏明(平野小三年)
阿部 裕之(同 三年)
塚本 弓子(清水小三年)
宗像 千秋(御館小三年)
穂積 広美(表郷小三年)
村上 雅恵(平野小四年)
斎藤 淳子(平田小四年)
阿部奈央子(清水小四年)
岡崎 賢治(大波小四年)
鈴木 尚子(平二小四年)
渡辺 佳子(平田小五年)
栗原 郁子(大波小五年)

◇優良賞

縦山 貴一(平野小五年)
鈴木 博一(小田川小五年)
奥山 靖子(平二小五年)
穴戸 恵美(平野小六年)
塚田亜紀子(清水小六年)
川野 英子(大波小六年)
正木 美穂(錦小 六年)
鈴木 敦子(平二小六年)

◇佳作

木戸 浩子(清水小六年)
富岡みゆき(平二小六年)
佐藤 秀一(大波小六年)
真壁美保子(本宮小六年)
橋本みゆき(穂積小六年)

太宰加代子(大波小一年)
むとうようこ(木幡小一年)
こんどうけん(城北小一年)
せやまさなり(平二小一年)
いしいしほみ(浪江小一年)
斎藤 祐作(平田小二年)
加藤 千晶(大波小二年)
鈴木 央生(本宮小二年)
しげたあい(山潟小二年)
二階堂文裕(大波小三年)
関谷 一仁(山潟小三年)
相楽 聡子(平二小三年)
大島 咲子(浪江小三年)
安西 敦(平野小四年)
長沢 睦子(大田小四年)
浅井砂緒里(城北小四年)
佐野 真理(伊南小四年)
今田 敬子(湯本三小四年)
藤田 志穂(富岡二小四年)
武田 禎規(清水小五年)
太宰由美子(大波小五年)
古市 久子(東館小五年)
大堀美和子(東山小五年)
佐野 善信(伊南小五年)
平松加奈子(平二小五年)
太田 久子(平田小六年)

ふじたたかし(小田川小一年)
たきたさとし(双潟小一年)
あべあきお(山潟小一年)
ばんないちえこ(尾岐小一年)
しみずひとみ(柳津小一年)
菊田 禎久(宮小 一年)
小松 桂子(錦小 一年)
せきねさとし(湯本三小一年)
長田ゆかり(東館小二年)
ふじたひでき(神指小二年)
根本 ちか(城北小二年)
新井田雅人(柳津小二年)
きとう尚幸(宮小 二年)
秋元 りえ(富岡二小二年)
貴田 寿恵(同 二年)
安斎 高志(森合小三年)
斎藤 裕美(本宮小三年)
稲村 浩美(木幡二小三年)
鈴木美由記(大原小三年)
鈴木 雅典(東館小三年)
中丸りえ子(東山小三年)
志賀あゆみ(城北小三年)
鶴賀 笑(尾岐小三年)
河原田美保(伊南小三年)
上遠野敦子(泉小 三年)
栗岩 瑞生(富岡二小三年)
原瀬 明彦(本宮小四年)
水野 洋子(論田小四年)
富永 篤(東館小四年)

武藤 多恵(一箕小四年)
平山 泰之(神指小四年)
佐藤恵美子(北山小四年)
牛木 悦子(畠磐梯小四年)
鈴木 亮子(平二小四年)
白土美穂子(泉小 四年)
永瀬 由美(田人二小四年)
坂下由利子(磐崎小四年)
長瀬由香里(浪江小四年)
野口 佳也(宮小 四年)
金沢 幸子(高城小五年)
浅野衣里子(一箕小五年)
佐藤 美映(河東二小五年)
安部 房徳(山潟小五年)
坂内美香子(尾岐小五年)
遠藤 直子(柳津小五年)
金田 淳(熊倉小五年)
小貫 一恵(表郷小五年)
小野 恵(湯本三小五年)
斎藤 典子(磐崎小五年)
助川ゆかり(泉小 五年)
猪狩 和子(富岡二小五年)
山田美香子(浪江小五年)
高橋 広美(平野小六年)
国分 静江(平田小六年)
片野 総夫(東館小六年)
木村 恵美(東山小六年)
水下山(河東二小六年)
渡部 由紀(猪苗代小六年)
三高 一幸(山潟小六年)
吉田 美保(小田川小六年)
阿久津昌久(伊南小六年)
奥 裕子(泉小 六年)
大内 里美(森合小六年)
半谷美津穂(富岡二小六年)
水野 敬子(論田小六年)

「中学校の部」

◇最優秀賞

輪達 幸重(矢吹中一年)

◇優秀賞

片平 清子(釧路中一年)
人見 啓子(白河二中一年)
佐藤美希子(磐崎中一年)
橋本 妙子(中郷中二年)
輪達 一恵(矢吹中三年)
矢吹 洋子(磐崎中三年)

◇優良賞

平井 美紀(釧路中一年)
岩原 宏(橋本中一年)
大須賀徳子(双葉中一年)
石原千代美(矢吹中二年)
村上 加代(中郷中二年)
塩田 睦美(矢吹中三年)
柳沼 幸枝(中郷中三年)

◇佳作

大竹 美紀(若松一中一年)
渡部 保子(若松一中一年)
木村真由美(一箕中一年)
蓬田 優子(釧路中一年)
佐藤 律子(白沢中二年)
林 めぐみ(若松二中二年)
稲沼 邦彦(磐崎中二年)
橋本 早苗(双葉中二年)
木幡 和清(双葉中三年)

子どもの健全育成を図るために PTAの役割母親の役割は何か

第六回県PTA母親リーダーセミナーで討議

県連PTA研修委員会の事業の一つとして、第六回県PTA母親リーダーセミナーが、去る十月・十一月にかけて県内四方面（県北・県中南・会津・浜）において開催された。講師には、県社会教育課主事・室井英夫先生、参加者は、各支部から現在PTAのリーダーとして活躍をされている母親で、計百九十二名である。

このセミナーの主題は、「子どもの健全育成を図るために、PTAとしての役割、特に母親の役割は何か」で、四方面とも同主題で行われ、七、八グループにわかれて討議しあった。まとめ方は、KJ法的手法により各グループごと発表しあった。なお、セミナーの目的は、楽しく、スムーズに、しかも充実した会議をすすめるための司会、記録の仕方、また、グループのとりあげ方などを研修する会でもあるので、一人ひとりの体験学習ですすめられた。参加者全員が、現場にかえってリーダーとして自信を得たことと信じておる。



このセミナーで、人に気を使わず自分の意見を自由に発言できる「ブレインストーミング」。

また、会議のすすめ方として、KJ法的手法によるまとめ方の勉強をしたことは、大きな収穫であったと思う。

県PTA安全互助会だより

安全互助会全員加入のおすすめ!!

私達PTA会員の総意で創設しました安全互助会も、今年十二年目を迎えました。お陰様で、昭和六十年度は、別表のとおり県下小中学校PTA数の八十一パーセントに達することができました。これひとえに会員皆様方の御理解と御支援の賜ものと深く感謝申し上げます。

さて、六十年度の互助会の補償契約は、六十一年三月三十一日までです。四月一日から新たに契約することになります。つきましては、近々、「加入のすすめ」、「事務取扱い」、「加入申込書」等貴PTAに届くことと思いますので、何とぞ、県下小中学校・公立幼稚園の学童・PTA会員の全員加入をぜひお願い申し上げます。

昭和六十一年度の規約は、前年度と同じですが

昭和60年度県PTA安全互助会加入状況

()内は幼稚園数

区 分 地 区	小 学 校				中 学 校				合 計	
	小 学 校		中 学 校		小 学 校		中 学 校		合 計	
	加入 単 数	加入 率 (%)	加入 単 数	加入 率 (%)	加入 単 数	加入 率 (%)	加入 単 数	加入 率 (%)	加入 単 数	加入 率 (%)
福 島	47 (18)	95.9%	17	73.9%	64 (18)	88.9%				
達 南	13 (2)	100.0	3	100.0	16 (2)	100.0				
伊 達	28 (10)	93.3	7	100.0	35 (10)	91.6				
安 達	28 (11)	84.8	9	75.0	37 (11)	82.2				
郡 山	51 (2)	86.4	17	68.0	68 (2)	82.9				
岩 瀬	18 (1)	75.0	8	46.2	26 (1)	70.3				
石 川	28 (8)	96.6	7	87.5	35 (8)	94.6				
田 村	35 (7)	92.1	14	82.4	49 (7)	89.1				
西 白 河	25 (7)	92.5	11	78.6	36 (7)	87.8				
東 白 川	15 (2)	68.2	1	25.0	16 (2)	61.5				
若 松	14	87.5	7	77.8	21	81.0				
北 会 津	15 (1)	93.8	4	66.7	19 (1)	86.4				
両 沼	16 (3)	88.9	5	50.0	21 (3)	75.0				
大 沼	10 (1)	100.0	4	100.0	14 (1)	100.0				
耶 麻	26 (1)	78.8	13	72.2	39 (1)	76.5				
南 会 津	19	100.0	11	100.0	30	100.0				
い わ き	38 (9)	52.1	16	38.1	54 (9)	47.0				
双 葉	19 (4)	100.0	11	100.0	30 (4)	100.0				
相 馬	32 (16)	100.0	14	100.0	46 (16)	100.0				
合 計	477(103)	85.2	179	71.3	656(103)	80.9				

事故多発 学童死亡十五人!!

本会としては、単位PTAの学童、PTA会員の一括加入を強く希望するところでございます。

東北各県は、大方一括加入です。本県も次年度あたりから、考えているところでございます。

昭和六十年度も二月十五日現在、事故による学童の死亡者数十五人の尊い命を失いました。まことにむく悲しいこととでございます。また事故件数も千五百件にも達しようとしております。詳しいことは、四月上旬、安全互助会報告書を編集し各単Pへお届けいたしたいと存じます。

本会としても、いよいよ学童及び、PTA会員

編集後記

の事故防止と安全互助に最善の努力をしていかなければならないことを深く感じるものであります。

▼節分・立春は過ぎたのに、寒さは厳しく、春の訪れの待たれるこのごろである。▼しかし、寒い風の中にも、太陽の日差しは暖かく、春近しを思わせる。▼今年最後の会報第21号をお送りする。

▼今号は、もうすこし早く発行したいと準備をすすめてきたが、「子ども」の災害事故防止ポスター「習字」の審査が遅れたため、例年なみの発行日となってしまった。▼しかし、待ったがいがある。最優秀作品、ポスター三点、習字七点の写真入りで、審査結果を発表することができた。▼来年は第10回を迎えるが、課題は同じなので、今から準備して、多数の学校の参加をお願いしたい。▼各単Pも、年度末を迎え、まともな反省の時期、風邪などひかず、いっそうのご奮闘をお祈りする次第である。